

学校名	宮城県気仙沼高等学校	課程	定時制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員 (予定)	40人
-----	------------	----	-----	---------------	-----	--------------	-----

求める生徒像

本校は、社会的自立を果たすための土台をつくり、社会に貢献できる人間を育成することを目指しています。また、勤労しながら学ぼうとする生徒や様々な事情を抱えている生徒、あるいは人生の様々な段階で学びの必要な人にも学びの場を届け、充実した生活の実現を支援します。受験する皆さんの「これまでがどうだったかより、これからどうするのか」を大切にしていきます。これまでの学校生活において自己の能力や適性を十分生かしきれなかった人も、本校で日々の授業を大切にすることにより、自らの目標の実現に挑戦していくことを強く望みます。よって、本校では次の1～3の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 働きながら学ぶことを強く望み、気仙沼高校定時制で学びたいと思う生徒
- 2 社会で自立するために、基礎・基本となる学力の習得に取り組み、毎日の授業を大切にしている生徒
- 3 他者の立場を尊重し、思いやりの心と協調性をもつ人、かつ、粘り強く物事に取り組み、最後まであきらめずに成し遂げることを目指す生徒

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	共通選抜 → 特色選抜		面接
共通選抜	4人（募集定員の10%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校（職場、前籍校）での活動・生活状況 (3) 入学後に取り組みたいこと (4) その他 4 観点 (1) 学校生活に対する意欲 60点 (2) コミュニケーション能力 40点 ※面接については、2日目に実施する。
学力検査：調査書	3 : 7		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は3:7とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜	36人（募集定員の90%）		
I 配点 1 調査書 48.75点 ・国語、数学、社会、英語、理科……………全学年の評定を0.25倍にする ・音楽、美術、保健体育、技術家庭……………全学年の評定を0.5倍にする 2 学力検査 125点 ・国語、数学、社会、英語、理科……………得点を0.25倍にする 3 面接 100点 合計 273.75点 II 選抜方法 ・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する36人の120%の範囲に含まれるものを対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 III 社会人特別選抜: 有			

第二次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文
第1志望とすることができる 学科・コース	共通選抜 → 特色選抜		面接・実技・作文
共通選抜	4人（募集定員の10%）		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ II 作文 1 形式 本校が提示する「題」による自由作文 2 時間 40分 3 観点 (1) 「読み・書き」の基礎力 10点 (2) 思考・判断・表現力 40点
学力検査：調査書	3 : 7		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は3:7とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜	36人（募集定員の90%）		
I 配点 1 調査書 48.75点 ・国語、数学、社会、英語、理科……………全学年の評定を0.25倍にする ・音楽、美術、保健体育、技術家庭……………全学年の評定を0.5倍にする 2 学力検査 50点 ・国語、数学(各教科25点満点) 3 面接 100点 4 作文 50点 合計 248.75点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。			